

小学部 算数科 3段階 A数と計算

単元名:「あわせていくつ、ふえるといくつ」

Hさんの本時の個別の指導目標（算数科 3段階）

- ① 「8+6」の1位数+1位数の繰り上がりのある加法の計算をすることができる。
(知識及び技能)
- ② 「8+6」の計算において、具体物を操作しながら加数を分解して10のまとまりを作り、和を求めることができる。
(思考力・判断力・表現力等)
- ③ 繰り上がりのある計算において、「10のまとまり」や「10といくつ」という数の見方を用いて、自ら計算に取り組んでいる。
(学びに向かう力、人間性等)

資質・能力を育むための指導のアイデア

【指導と評価の一体化】

言葉

指導

教材

・自分の計算のやり方だけでなく、友達のブロックを見て、計算過程を想像して説明させる。

・数学的用語を用いて言葉を精選する。

・加数と被加数でブロックの色を変える。(いくつ借りてきたか視覚的に理解しやすくする。)

・国語での説明文や物語における「初めに、次に」などの説明に必要なキーワードの理解、活用。

・生活単元学習で活用する場面の設定。

・「なぜ理由を言うのか」の理解。言葉だけで説明する力の育成



<単元研究会のあと…>

今回の単元研究会でいただいたアイデアの中から、「10以外の数の合成分解」や「加数と被加数でブロックの色を変えること」を取り入れることで、第2次の後半や第3次で実際にさくらんぼ算の式に表記する際に、「借りてきた数」や「(数を)いくつといくつに分けたか」が明確になり、子どもたちが自分でさくらんぼ算の形に式を表記して和を求める姿が見られるようになりました。また、今後も、本単元で指導した言語活用能力に関しては、日常生活の中で、説明の定型文やキーワードを活用することなど、教科の枠を越えた場面での指導を継続することで育んでいきたいです。

